

| 今月の不動産経済 (2026年3月)

● 不動産業の動向

不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	48.3 p	前月比 △ 1.3 p ↓
-------------------------------	--------	------------------

不動産業の倒産状況 ^{*1}	22 件	前年同月比 △ 29.0 % ↓
負債総額 ^{*1}	9,968 百万円	158.6 % ↑

● 新設住宅着工数

新設住宅着工・総数 ^{*2}	63,495 戸	前年同月比 △ 29.0 % ↓
持家	16,659 戸	△ 27.1 % ↓
貸家	27,678 戸	△ 34.9 % ↓
分譲	18,530 戸	△ 21.4 % ↓
内マンション	7,463 戸	△ 30.9 % ↓

● マンション市場の動向

新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	1,425 戸	前年同月比 △ 35.5 % ↓
[契約率]	[64.5%]	△ 11.7 p ↓
平均価格	10,413 万円	△ 0.7 % ↓
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	1,975 戸	24.3 % ↑
[契約率]	[74.9%]	△ 3.8 p ↓
平均価格	4,759 万円	△ 13.5 % ↓
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	5,045 戸	0.2 % ↑
平均価格	5,521 万円	11.6 % ↑
[㎡単価]	[86.3万円]	9.3 % ↑
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	2,155 戸	△ 2.3 % ↓
平均価格	3,179 万円	2.4 % ↑
[㎡単価]	[46.9万円]	1.5 % ↑

● オフィス市場の動向

オフィス賃料 (都心5区) ^{*6}	22,302 円	前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率) 8.0 % ↑
オフィス空室率 (都心5区) ^{*6}	2.22 %	0.02 p ↑

不動産業の業況感は前月から 1.3p悪化の 49.6p。

新設住宅着工数は、5ヶ月連続で前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 35.5%減 (3ヶ月ぶりに減)。契約率は 64.5%。平均価格は同 0.7%低下 (11ヶ月ぶりに低下)。

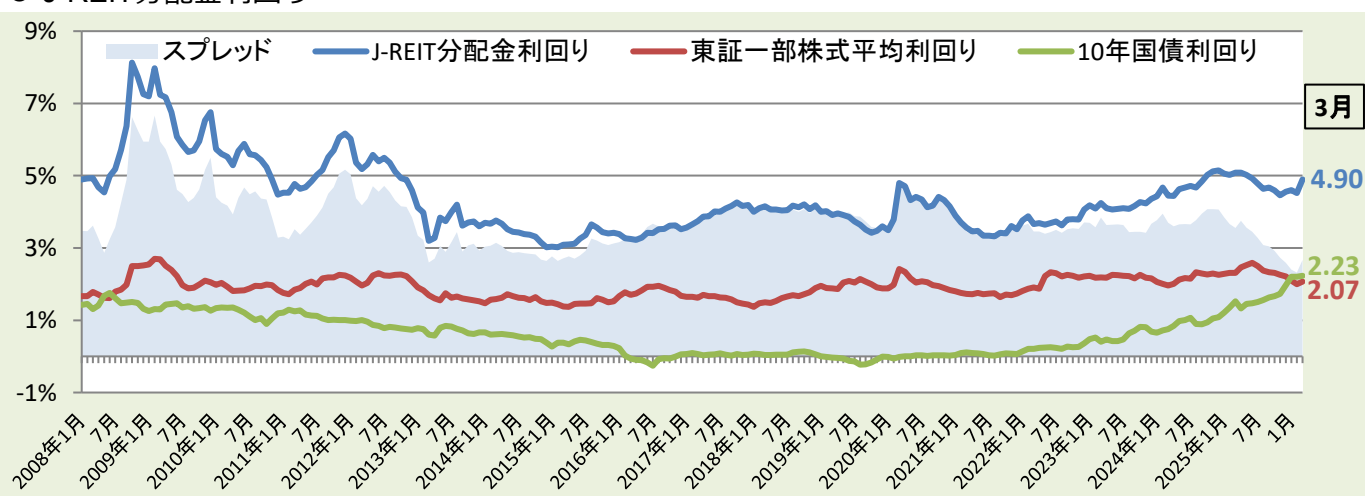
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 24.3%増 (2ヶ月ぶりに増)。契約率は 74.9%。平均価格は同 13.5%低下 (3ヶ月ぶりに低下)。

首都圏の中古マンション成約件数は 前年同月比 0.2%増 (17ヶ月連続で増)。平均価格は同 11.6%上昇 (17ヶ月連続で上昇)。

近畿圏の中古マンション成約件数は 同 2.3%減 (2ヶ月連続で減)。平均価格は同 2.4%上昇 (10ヶ月連続で上昇)。

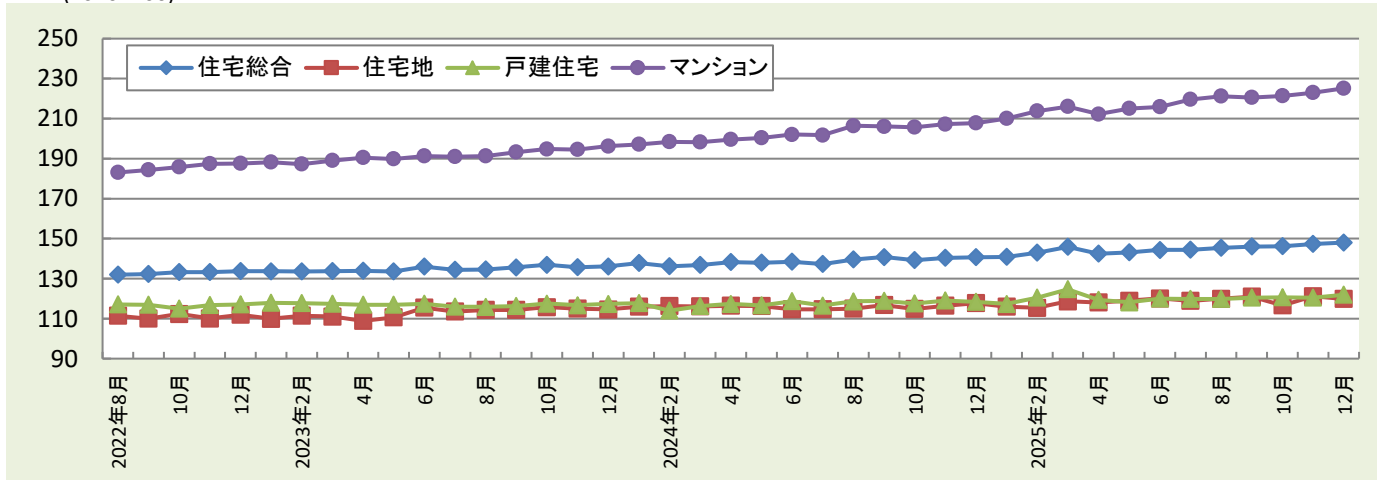
都心5区のオフィス賃料は 23ヶ月連続で前年同月上昇。オフィス空室率は前月比 0.02%p上昇の 2.22%。

● J-REIT分配金利回り^{*7}

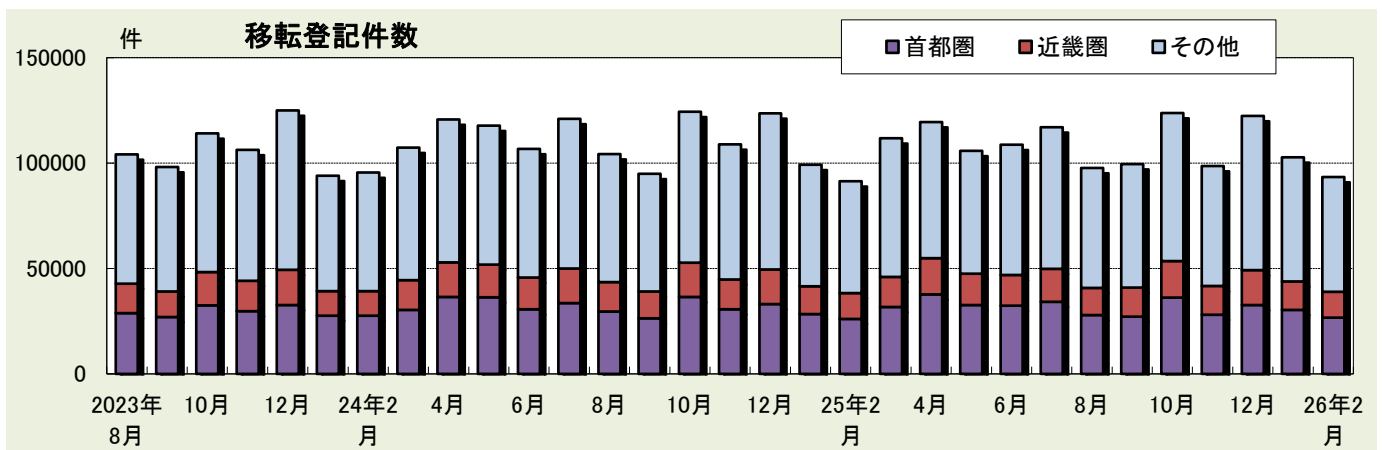


● 不動産価格指数^{*2}

(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)
[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)